

発電所の名称が

「ソフトバンク榛東ソーラーパーク」 に決まりました



現在の八州高原の緑と

工事の進捗状況をお知らせします。

村民事業説明会でご案内した工事予定表のとおり、5月末までに太陽光パネルが10,122枚設置されます。写真は約8割が設置された状況です。6月の工事は、一枚一枚のパネルを一本のケーブルにつなぎ、発電開始のための工事となります。

4月号でお知らせしたサポーターに応募していただいた方々の中の数名で、発電所の脇にラベンダーを植えていただいています。工事現場ですので、安全管理のためヘルメットを被って作業していただきました。少し雨が降っていましたが、苗には良い環境で、全て根付いてくれると思います。



5月中旬、中央工科デザイン専門学校の学生が課外授業として工事現場を訪れました。

これは、未来の電気主任技術者を目指し、学んでいる皆さんにメガソーラーの国内1号案件の建設の様子を見ていただき、専門性を高めていただくために、特別に視察をお受けいたしました。

あいにくの雨の中でしたが、役場で誘致と建設内容についての講義を受け、現場では、太陽電池パネルの前で技術者から発電の仕組みについて説明を受けました。「スケールが大きく驚きました。」「完成したら、必ず見に来たい。」などの感想を述べていました。

7月1日の運転開始に合わせて、村民の皆様に向けた見学会を午前9時から午後3時に開催を予定しています。